

## 第1章 歴史文化基本構想策定の背景と目的

### 1. 構想策定の背景と目的（歴史文化基本構想とは、背景、目的）

#### <国の動向>

国の文化財保護は、1950年（昭和25年）に制定された文化財保護法に基づき文化財類型ごとの特性に応じた保存活用のための措置が講じられたことから始まり、その後、指定・登録制度の充実が図られてきた。

保護制度の充実は図られているものの、近年、過疎化や少子高齢化、文化財を育み支えてきた地域の変化、財源の縮小等により、文化財を保護していくことが困難な事例が増加している。

一方で、文化財や伝統的な文化の価値が見直され、これらを活かした地域づくり、まちづくりへの機運が高まりつつある。

これらを背景に、2006年（平成18年）から国の文化審議会で、新たな文化財保護のありかたの検討が始まり、地域の文化財をその周辺環境も含めて、社会全体で総合的に保存・活用していくことの必要性と、そのために地方公共団体が「歴史文化基本構想」を策定していくことの重要性が提言され、2012年（平成24年）には「歴史文化基本構想」作成技術指針が示された。

作成技術指針には、「歴史文化基本構想」の定義として、「地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広くとらえて的確に把握し、文化財をその周辺環境も含めて、総合的に保存・活用するための構想」と記されている。

#### <市の状況>

札幌市では、1959年（昭和34年）に「札幌市文化財保護条例」を制定し、国や北海道と連携する中で、文化財保護行政を進めてきた。

平成26年に策定された「札幌市文化芸術基本計画」においては、札幌の貴重な文化遺産・自然遺産を大切に保存し、まちづくりに積極的に活用していくことで次の世代への橋渡しを行うべく、文化財の保存と活用を重点取組事業として位置づけ推進している。

札幌市には、指定・登録等がなされているもの以外にも貴重な文化財が多く存在し、それらが年月の経過とともに失われつつあることが課題となっている。

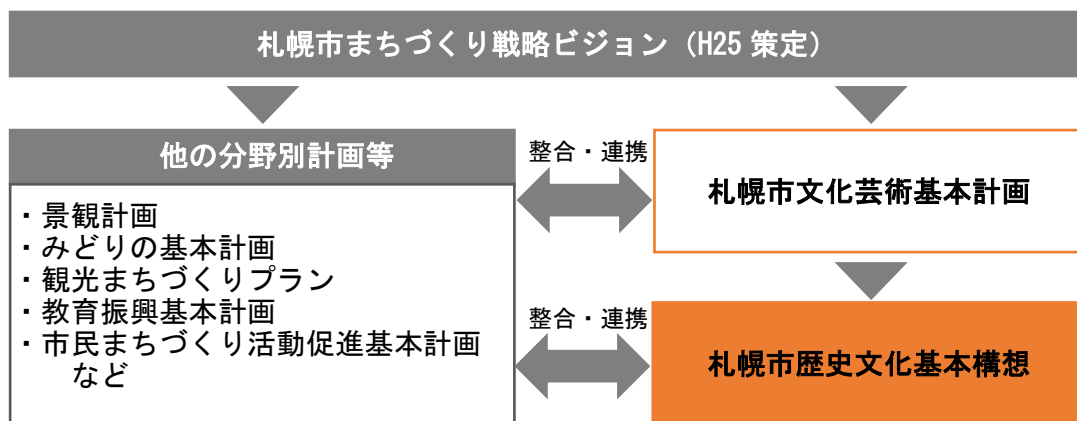
#### <背景・目的>

これらの文化財は、札幌を札幌らしくしている宝の一つであり、まちの歴史を知る上で大切なもの、これからを考えるヒントになるもの、くらしを豊かにするものである。

本構想は、未指定文化財を含め、市民や地域にとっての宝を掘り起し、価値を再認識し、多くの人に存在を知ってもらうことで、それぞれの立場で何ができるのか考えてもらえるきっかけをつくり、文化財を地域社会全体で支えていくこと、また、関連性を持つ文化財同士や周辺環境も含め一体的に捉えてまちづくりに活かしていくことで、地域の文化や経済振興につなげ、文化財を将来に継承していくことを目的に策定する。

## 2. 歴史文化基本構想の位置づけ（行政上の位置づけ）

本構想は、「札幌市まちづくり戦略ビジョン」および「札幌市文化芸術基本計画」に基づき、札幌市景観計画など他分野のまちづくりの方向性と整合を図りながら、文化財を総合的に保存活用していくためのマスタープランとして策定する。

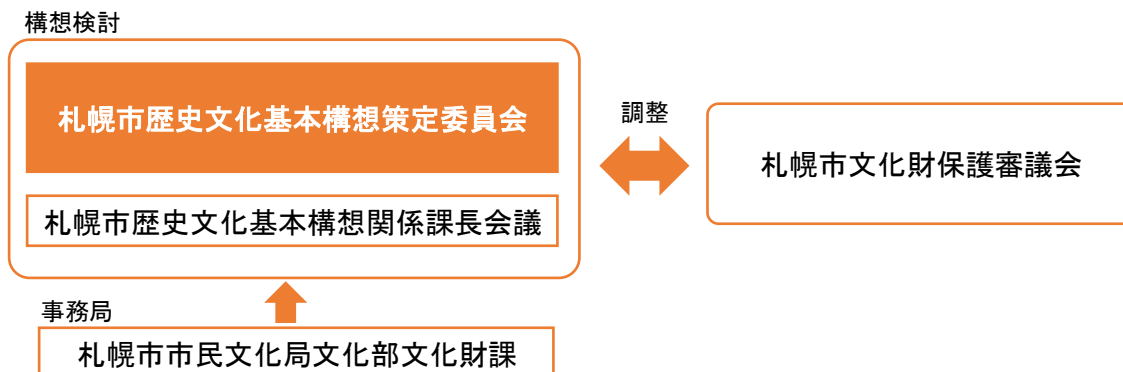


## 3. 策定経緯

本市における文化財の保存・活用の指針について「（仮称）札幌市歴史的資産保存活用推進方針」の策定を目指し、平成27年度から文化財（建造物、土木構造物、歴史資料）の調査に着手した。平成29年度に「（仮称）札幌市歴史的資産保存活用推進方針検討委員会」（以下「検討委員会」）を設置し検討を進めたが、文化財保護法改正等の文化財に関する動向などを踏まえ、当該指針については、より幅広い文化財の調査を実施し、有識者や庁内関係部署との連携を図りつつ、本市の文化財の保存・活用のマスタープランとなる「歴史文化基本構想」を策定することが適当との結論に至り、文化財を幅広く調査するとともに、構想策定に向けて改めて検討を行うこととし、平成29年度末から31年度の約2か年で各種調査、市民アンケート、市民ワークショップを実施し構想策定を行った。

構想策定にあたっては、有識者、市民代表、行政を構成員とする「札幌市歴史文化基本構想策定委員会」（以下「策定委員会」）を設置するとともに、行政内での検討体制として「札幌市歴史文化基本構想関係課長会議」（以下「関係課長会議」）を設置した。

### ◆検討体制



◆検討経緯

日時	委員会等	検討内容
H29.6.12(月)	第1回 検討委員会	(仮称)札幌市歴史的資産保存活用推進方針の趣旨について これまでの調査について
H29.8.9(水)	第1回 ワーキング	方針素案のゴールイメージについて
H29.8.29(火)	第2回 ワーキング	所有者・ヘリテージマネージャー意見交換会の概要
H29.9.21(木)	第2回 検討委員会	ワーキング・意見交換会の結果報告/ 方針素案の概要について
H30.3.10(土)	歴史的資産の 魅力発見ワークショップ (南区編)	南区の自分達の身近にある歴史的資産を参加者で紹介しあ い、それらの魅力や価値について考えた
H30.3.14(水)	第1回 策定委員会	歴史文化基本構想策定について/ 歴史文化基本構想について(講演)/ スケジュールについて/歴史文化基本構想の項目について
H30.6.20(水)	第1回 関係課長会議	歴史文化基本構想策定について
H30.6.25(月)	第2回 策定委員会	文化財に関する国の動き(講演)/ 文化財把握(調査)の方針について/ 関連文化財群・ストーリーについて/
H30.8.1~8.2	WEBアンケート	地域のお宝募集WEBアンケートを実施
H30.8.1~9.28	市民アンケート	地域のお宝募集市民アンケートを実施
H30.8.21(火)	第3回 策定委員会	札幌市の文化財について/ 関連文化財群について
H30.8.25(土)	第1回 れきぶんワークショップ	地域のお宝を出し合い、特に地域らしさを表すお宝、調査対 象についての意見交換
H30.10.14(日)	第2回 れきぶんワークショップ	取り上げた一つの文化財(地域お宝)について、現地調査な どで調べた内容の取りまとめ
H30.11.8(木)	第4回 策定委員会	
	第5回 策定委員会	
	第6回 策定委員会	

◆委員会名簿

【委員】（五十音順 外部委員、内部委員別 敬称略）

氏名	分野	所属等
阿部 一司	アイヌ文化	札幌アイヌ協会会長
往田 協子	公募委員	
角 幸博	文化財建造物	北海道大学名誉教授
金山 敏憲	公募委員	
川上 淳	歴史学	札幌大学教授
熊谷 由紀	教育	札幌市立桑園小学校校長
黒岩 裕	郷土資料	旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）保存会 事務局長
甲地 利恵	無形文化財	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター 研究主幹
西山 徳明	文化財活用	北海道大学観光学高等研究センター センター長
羽深 久夫	文化財建造物	札幌市立大学教授
樋口 雅宏	観光・経済	札幌商工会議所国際・観光部長
山舗 直子	生物	酪農学園大学名誉教授
阿部 芳三	都市計画行政	札幌市まちづくり政策局都市計画部長 （内部委員）
前田 真子	文化行政	札幌市市民文化局文化部長 （内部委員）

【オブザーバー】（敬称略）

岡本 公秀	文化庁地域文化創生本部広域文化観光・まちづくりグループ 文化財調査官
浅野 祐司	北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ 主幹
担当職員	まちづくり政策局都市計画部地域計画課（景観担当）

【事務局】

札幌市市民文化局文化部文化財課
-----------------